

市の宣言

男女平等参画都市宣言
非核平和都市宣言
青少年健全育成都市宣言
交通安全都市宣言

図1 新庁舎建設の検討の流れと基本計画の位置づけ

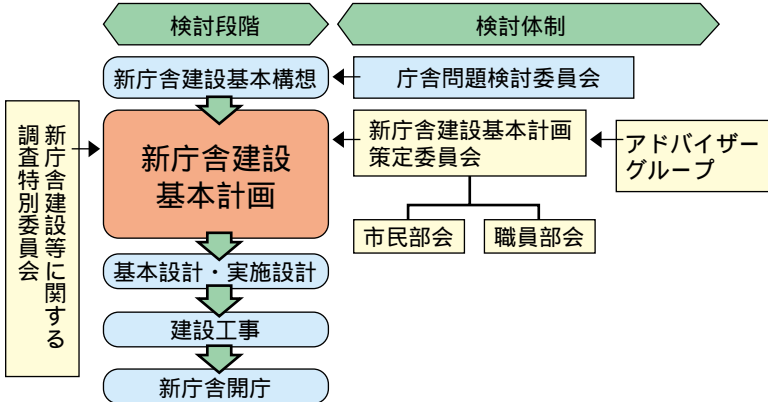


表1 新庁舎の備えるべき姿

<p>1. 市民に開かれ便利で使いやすい庁舎</p> <p>(1) ワンストップ行政サービスの導入 市民がさまざまな相談・手続きができる一元化された窓口の実現 ワンストップ行政サービスの支援機能の充実 市民センターの充実と本庁との適切な役割分担 開庁時間への柔軟な対応</p> <p>(2) 市民協働や市民交流が活発に展開される庁舎 市民との協働空間の確保 市民交流、市民活動の場の確保</p> <p>(3) 情報の提供・発信機能が充実した庁舎 市民・行政・議会が情報共有できる基盤の整備 マルチチャンネル化されたコミュニケーション手段の提供 いつでもどこからでも情報入手できる状態の実現 障がい者の方々・外国人の方々などへの配慮 町田市の特徴を生かした情報の発信</p>	<p>2. 今後の社会と環境に対応した機能・性能を実現した庁舎</p> <p>(1) 災害等への安全・安心を確保した庁舎 耐震性能の確保 災害時に迅速に対応できる防災・災害復興拠点機能の整備 総合的なセキュリティの確保 バックアップ機能の整備</p> <p>(2) 誰にもわかりやすく、使いやすい庁舎 わかりやすく、使いやすい空間・設備の整備 わかりやすい案内表示の設置</p> <p>(3) 環境の持続性と健康に配慮した庁舎 省エネルギーの実現 循環型システムの実現 建設時の環境配慮 周辺環境に配慮した緑環境の創出 健康に配慮した施設の実現</p> <p>(4) 高度情報化社会に対応できる庁舎</p>
<p>3. 諸機能が適切に配置され将来の変化に柔軟に対応できる庁舎</p> <p>(1) 市民に開かれ充実した議会施設を備えた庁舎</p> <p>(2) 効率的に業務が遂行できる庁舎 効率的な執務空間の実現 執務環境をサポートする機能の充実 福利厚生施設の設置</p> <p>(3) 将来の変化への柔軟な対応と長寿命の実現</p> <p>(4) 適正なライフサイクルコストの実現</p>	

1 基本計画策定までの経緯
「基本計画」は、「基本構想」に掲げられた理念を継承して策定されています。策定にあたっては、「町田市新庁舎建設基本計画策定委員会」を設置し、委員会内に、公募市民および各種団体の代表者から構成される「市民部会」と町田市職員による「職員部会」を置き、検討テーマごとの分科会（市民部会 施設 市民利用 まちづくり、職員部会 施設計画・周辺整備 事業手法・発注手法 財政分析・財政計画 庁舎利用）

2 新庁舎の備えるべき姿
「基本構想」をはじめ、これまでに積み重ねられてきた新庁舎建設に関するさまざまな検討・議論・報告等をもとに、「新庁舎の備えるべき姿」について表1のように設定しています。

3 新庁舎の規模と建設費用
新庁舎の規模、建設費用、建設費用を賄う財源については、表2のように想定しています。

4 新庁舎の位置
新庁舎は、2004年3月議会で可決された「市役所の位置を定める条例の一部を改正する等の条例」に基づき、森野二丁目939番1に建設します(図2参照)。

5 実現方策
(1) 事業手法
新庁舎建設の際選択する事業手法については、庁舎の施設としての特性、ライフサイクルコストの削減、資金調達と市財政への影響、国庫補助金導入の可能性、建設スケジュールへの影響といった観点をもとに検討し、市民意向の反映可能な手法として、公共直営方式(従来方式)を採用します。

6 今後のスケジュール
今後のスケジュールについては、表3のとおりです。基本設計の開始年度を1年目とすると新庁舎の開庁は7年目と想定されます。なお、今年度は、設計者を選定するため、学識経験者等による検討組織を設置する予定です。

新庁舎建設基本計画がまとまりました

市では、森野二丁目への本庁舎移転に向け、昨年6月に策定した「町田市新庁舎建設基本構想」(以下「基本構想」)をもとに、設計の際に指針となる「町田市新庁舎建設基本計画」(以下「基本計画」)の策定作業を進めてきました。このほど、これまでの検討結果をふまえて、「基本計画」を策定しましたので、その概要についてお知らせします。

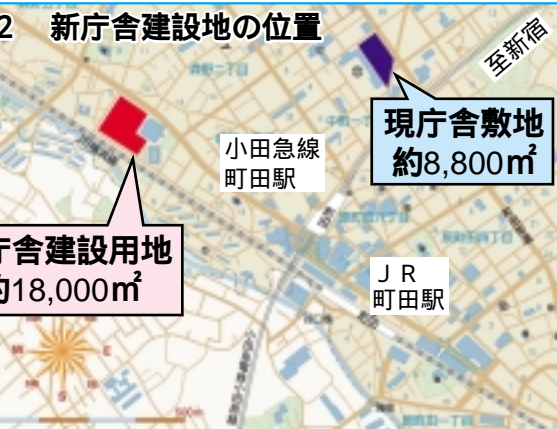


表2 新庁舎の規模と建設費用

庁舎規模	40,000㎡
内訳	事務室、議事堂、地下駐車場等 36,500㎡ 市民協働空間や防災拠点機能、その他必要な諸機能空間 3,500㎡
建設費用	166億4千万円
財源	特定財源(国庫補助金、地方債、積立金等) 161億1千万円 一般財源(市税等) 5億3千万円

表3 今後のスケジュール

経過年数	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目
年度	2005 (H17)	2006 (H18)	2007 (H19)	2008 (H20)	2009 (H21)	2010 (H22)	2011 (H23)
対応事項	設計業務発注準備	基本設計	実施設計	施工発注準備	建設工事		移転及び開庁準備

町田市収入役に 稲垣幸二氏が就任

6月6日に開かれた市議会本会議で同意を得て、収入役に稲垣幸二氏(昭和21年生まれ、58歳)が選任されました。任期は4年です。稲垣収入役は、昭和45年町田市に就職、企画政策課長、職員課長などを歴任、平成13年6月から総務部長。

本間静収入役が退任

収入役の本間静氏が6月5日付

常勤監査委員に 小西弘子氏

6月6日付けで、常勤監査委員に小西弘子氏(昭和33年生まれ、46歳)が就任しました。任期は4年です。小西氏は税理士です。

人事異動

6月6日付で次のとおり市の人事異動がありました(カッコ内は旧職)。

総務部長兼職員課長事務取扱(総務部参事兼職員課長事務取扱)梅橋敏博

この「基本計画」は町田市ホームページで全文をご覧いただけます。また、市政情報やまびこ(中町分庁舎1階、☎724・8407)で閲覧と販売(1部200円)を行っており、各図書館、各市民センターでも閲覧できます。問企画調整課新庁舎担当 ☎709・0593

市では新庁舎建設に向けて、市民の皆さんからのアイデアや提案、ご意見を随時募集しています。手紙、ファックス、電子メールにてお寄せください。

送付先 〒194・8520、町田市市中町1・20・23、町田市役所企画部企画調整課新庁舎担当、FAX 709・0613
Eメール ncity0900@city.machida.tokyo.jp